

岡崎市ビスタライン明示鋌管理要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、大樹寺から岡崎城を望む歴史的眺望（以下「ビスタライン」という。）の位置を明確にするため、ビスタラインの軸線を地面に垂直に投影した線上に設置するビスタライン明示鋌（以下「明示鋌」という。）の取扱い及び管理に関して必要な事項を定めるものとする。

(背景)

第2条 岡崎市の象徴である、徳川家康公生誕の岡崎城を望むビスタラインは、今日も風格ある優れた景観を形成しており、その歴史的経緯を鑑みれば、市民共通の資産といえる。

将来にわたり眺望景観を保全するために必要な建造物の高さ等を制限するにあたり、位置等を示すことを目的として明示鋌を設置したものである。

(届出)

第3条 次に掲げる工事等を施工しようとする者（以下「工事施工者」という。）は、様式第1号「ビスタライン明示鋌付近での工事施工届出書」を市長に提出しなければならない。

- (1) 明示鋌がある箇所又はその水平距離1メートル以内に明示鋌がある箇所を掘削し、又はこれらの箇所の舗装の復旧を行う工事等
- (2) 振動等により明示鋌の機能を害するおそれがあると認められる工事等
- (3) その他市長が必要と認めるもの

2 前項に規定する届出書には、次の図書を添付しなければならない。

- (1) 位置図（1/2500程度）
- (2) 横断図（地面の高さに変更が生じる場合に限る。）
- (3) 平面図（掘削位置と明示鋌の位置関係を明示したもの）
- (4) 観測図（明示鋌の位置に変更が生じるおそれのある場合に限る。）
- (5) 引照点図（引照点を設置する必要がある場合に限る。）
- (6) 測量資料（引照点を設置する必要がある場合に限る。）
- (7) 写真（明示鋌及びその周辺を写したもの。引照点を設置する必要がある場合は、与点及び全部の引照点の位置関係を写したもの。）

(工事等による明示鋌の復元)

第4条 工事施工者は、工事等により明示鋌を移動させる必要がある場合は、その復元方法について事前に市長と協議を行い、当該工事等の完了後、適正に復元しなければならない。この場合において、工事等により、地面の高さが1センチメートル以上変わるときは、岡崎市公共測量規程（作業規程の準則を準用）による4級水準測量以上にて、高さを測定することとする。

2 明示鋌の復元方法は、次のいずれかによらなければならない。なお、構造物引照法又は水系法で復元できない場合は、放射法を活用するものとする。

- (1) 建物、側溝、集水桝等明示鋌周辺の構造物の3点以上を引照点と見なし、

復元を行う方法（構造物引照法）

- (2) 明示鋸の十字の交点で交差する直線で、それぞれ明示鋸をはさんだ両側に各1点ずつ、計4点の引照点を設置し、復元する方法（水系法）
 - (3) 近傍の4級以上の基準点等から放射法により復元する方法（放射法）
 - (4) その他市長が認める方法
- 3 放射法で復元する場合及び高さが1cm以上変わる場合は、精度確保のために測量法第48条に定める測量士による測量を行うものとする。

（過失等による明示鋸の復元）

第5条 過失等により、明示鋸を滅失し、又は損壊した者は、元のとおり明示鋸を復元しなければならない。

- 2 明示鋸を紛失したときは、次のものを使用して設置する。
 - (1) 鋸 頭部直径15ミリメートル以上、長さ50ミリメートル以上
 - (2) 傘部 岡崎市が配布するもの

（費用の負担）

第6条 明示鋸の復元に要する費用は、原因者において負担するものとする。

（検査）

第7条 工事施工者は、工事等又は明示鋸の復元を完了したときには、速やかに様式第2号「ビスタライン明示鋸付近での工事完了報告書」を市長に提出しなければならない。

- 2 前項に規定する報告書には、次の図書を添付しなければならない。
 - (1) 完成写真（工事前及び事後）
 - (2) その他市長が必要とするもの
- 3 明示鋸の一時撤去及び復元を行った場合、工事施工者は、同条第1項に規定する報告書の提出後、現場立会いのもと検査を受けるものとする。その際、不備があった場合は、修正、修復等をしなければならない。

（その他）

第8条 この要綱に定めのない事項については市長が定める。

附 則

この要綱は、平成22年12月1日から施行する。

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

この要綱は、令和5年4月1日から施行する。

この要綱は、令和8年1月1日から施行する。

様式第1号 (A4判)

受付番号	
------	--

ビスタライン明示鎮付近での工事施工届出書

年 月 日

(宛先) 岡 崎 市 長

(届出者) 住所
 名称
 氏名
 電話

ビスタライン明示鎮付近における工事施工について、下記のとおり届け出します。

記

工事件名		
工事場所		
工事期間	年 月 日～ 年 月 日	
工事概要		
施工主等	名称 代表者名 所在地 担当者TEL	
施工業者	名称 代表者名 所在地 担当者TEL	
ビスタライン 中心 鎮 番 号	計 点	
そ の 他		

様式第2号 (A4判)

ビスタライン明示鋳付近での工事完了報告書

年 月 日

(宛先) 岡崎市長

(報告者) 住所
名称
氏名
電話

下記のとおり、ビスタライン明示鋳付近での工事が完了しましたので報告します。

記

工事施工届出年月日	年 月 日		
工事件名			
工事場所			
施工主等	名称		
	担当者	TEL	
施工業者	名称		
	担当者	TEL	
ビスタライン 明示鋳 番号	復元 チェックリスト	項目	判定
		位置	
		高さ	
その他			